

# JA だより



—自然のめぐもりと暮らしたくて—



## 謹賀新年



# 新年を迎えて

しずない農業協同組合代表理事組合長 西村 和夫



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様には、御家族とともにご健勝で新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃より当組合の事業運営に対し、ご協力とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

日本を取り巻く農業情勢においては、昨年9月に日米両国がTAG（日米物品貿易協定）の交渉開始に合意発表され、過去の経済連携協定で合意した関税から更に引き下げを求められる可能性があります。また、12月にはTPP11が発行になるなど、日本農業に大きな影響を及ぼすものであって今後

の情勢に注視しなければならぬと考えております。

昨年の日高地方は、2月の大雪による園芸ハウスなどの農業施設への倒壊被害や6月から7月にかけての長雨の影響による牧草収穫等の遅れ、さらに9月6日に発生した北海道胆振東部地震による「ブラックアウト」があり、例年になく自然災害に見舞われた一年でした。

昨年の農業作物の状況としまして、水稲は、作況指数が北海道で90、日高管内は94と不良でありました。低温長雨の影響で収穫量が減少したタンパク質の上昇が全道的にみられる状況のなか、静内地区はタンパク質も含め高品質な米を収穫することが出来ました。また町の産業振興を図るため、JA・観光協会・町商工会等で構成された町地酒づくり協議会を発足し、静内産米の酒造好適米を使用した町内外で親しまれるような日本酒の製造を目指し、メディアを通じて名称の募集を行うなど、販売に

向け準備を進めております。

青果では、2月の大雪によるハウス倒壊など多大な被害をうけましたが、関係団体、各方面からのボランティアの方々等による多くの御支援をいただき、早期に復旧することができました。また、春先の低温・日照不足により生育が遅れるなど栽培管理が難しい年となり、ミニトマト「太陽の瞳」の収量は昨年より減少したものの、1kg単価が高値で推移したこともあり、取扱金額も9億1600万円と昨年に引き続き9億円を突破することができ、青果全体では10億円を超える実績となりました。

また本年も2組の新規就農者の参入が予定されており、本年こそはミニトマト部会が目標として掲げる10億円を目指して参ります。

酪農については、北海道胆振東部地震による停電でミルクカーやバルクレーターの電源確保に困難を極め、搾乳や出荷に影響を与え、23トンの牛乳が廃棄せざるえない事態に見舞われました。

しかしながら、乳価は99円と高い水準で推移し販売金額は一昨年を超える取扱で推移しております。黒毛和牛については市場の平均

購買価格が去勢で87万6000円、メスで73万9000円であり、一昨年から大きな下落はなく、依然高値で推移されており、年間の販売金額でも3年連続の6億円の突破となる状況です。

基幹産業である軽種馬については、昨年の市場販売頭数及び販売金額が、343頭、31億6380万円と前年より7頭、4990万円の減少となりましたが、平均販売価格は4万円増加の922万4000円となりました。北海道市場では昨年より選抜市場として新設されたサマープレミアムセルも開催され、総売上も一昨年に引き続き100億円を超え、活気に満ち溢れる一年となりました。

また、昨年は1月31日に川崎競馬場で開催された「川崎記念」、11月4日に京都競馬場で開催された「JBCクラシック」を岡野牧場生産のケイティブレイブ号が優勝し、静内産馬が大きなレースで活躍する一年となりました。改めて生産牧場の皆様にお祝い申し上げます。

特に、10月に開催されたしずない農業まつりは台風の影響により、1日延期での開催となりましたが、

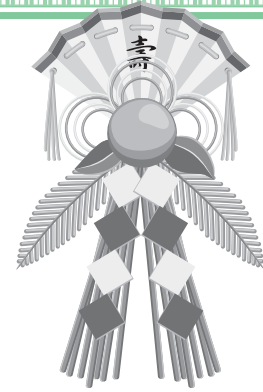
当日は天気にも恵まれ、たくさんのお客様が来場し、各種イベントで大いに賑わいをみせました。女性部では12月に町内の親子を対象とした「しめ縄づくり体験教室」を開催し、部員が参加者に講師をしながら交流を楽しみ、青年部では10月に「ハロウィン2018」を開催し、多くの来場者で賑わいをみせました。また、青年部員の田島義晴さんが自身の就農に至った経緯や青年部活動をテーマに日胆J A青年の主張大会、全道J A青年の主張大会で発表を行い、見事最優秀賞を受賞され、静内地区の担い手の方々に大きな可能性を感じた一年でありました。

最後にご心配とご迷惑をお掛けしております「日高4J A合併」については、昨年度より、地区別懇談会や戸別訪問により、8割を上回る組合員のご理解を得ていた所ですが、この日高4J A合併は残念ながら解消しておりません。しかしながら、我々J Aは、財務状況の改善と安定したサービスの提供の為、不良債権の回収を行い、今後、出資増口や外部からの資本注入を検討し、新たな形を模索しながら、自らの努力によつ

て改善を図るべく取り組んで参ります。  
本年も皆様をはじめ、ご家族にとりまして実り多い良い年でありますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。



## 謹んで新年のご祝詞を申し上げます



代表理事組合長

西村 和夫

副組合長

小倉 正信

常務理事

荒谷 昭二

理事

伊藤 佳幸

片岡 康成

中岡 雅則

藤村 英治

山口 修二

信用担当理事

兼金融部長

小川 哲哉

代表監事

渡辺 隆

監事

曾我 啓二

野表 忍

管理部長

山岸 剛

経営融資部長

佐々木 裕司

営農部長

樺田 文明

経済部長

大滝 康正

外職員一同



# 平成三十一年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔章



組合員並びにJA役職員の皆様方には、輝かしい平成31年に新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先は気温が高く、農作物の生育は平年並みで推移しましたが、7月の豪雨や台風21号により、農作物の倒伏や落果、農地・農業用施設の損壊など、全道各地域に甚大な被害が発生しました。さらに9月6日に発生した北海道胆振東部地震によ

り尊い命が失われるとともに、農作物や農業施設等に未曾有の被害が発生し、道内全域が停電となる「ブラックアウト」の発生により、組合員の営農やJAグループ北海道・農業関係組織の集出荷、輸送、製造、保管体制に多くの影響が生じてしまいました。

現在、JAグループ北海道を挙げて、1日も早い、復旧・復興に向け、全力でその支援対策に取り組んでいるところであります。

作目別の作況をみますと、米は、作況指数が90の「不良」、小麦は、天候不順の影響により、収量・品質とも平年を下回る結果、てん菜は、収量・糖度とも概ね平年並み、生乳は、胆振東部地震の影響と、今後は飼料作物の品質低下等により生乳生産への影響が懸念されているところです。

国際貿易交渉については、9月27日、日米両国が「日米物品貿易協定」(TAG)の交渉開始に合意したことが発表されました。

今後、TAG交渉において、米

意した以上の関税引き下げを求められる懸念があるため、その動向に注視していくとともに、農畜産物を犠牲にしない毅然とした対応を求めてまいります。

さて、昨年11月には、第29回JA北海道大会を開催しました。大会では、前回大会の決議を継承し、「農業所得増大」と「担い手確保・育成」の加速に取り組むとともに、「サポーターづくり」の活動拡大として、地域を共に支える准組合員の皆さんのご意見の把握に、これまで以上に取り組むことを決議しました。

また、協同組合の原点を、あらためて見つめ直し、「新たな協同組合」の姿を継続的に討議することも決議しております。今後、組合員の多様な価値観やニーズに対応できる事業運営の展開を検討してまいります。

そして、この3年間の実践期間のうちに、2019年5月には政府が進める「農協改革集中推進期間」の期限、2021年3月には「准組合員利用規制の調査期限」を迎えますが、JAグループ北海道としては、改革は自ら行うものとして、「力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けて、J

Aグループ一丸となって、大会決議事項の実践を通じた自己改革を進めてまいりたいと考えております。

結びになりますが、今年の干支は己亥(つちのとい)です。

亥には「無病息災」や「安定した状態で始動を待つ準備期間」の意味があるとのことでありませ

今年はこの亥年にあやかり、災害が無く、そして組合員の苦労が報われる実り多い豊穰の1年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。



# 新年にあたって

日高農業改良普及センター所長 松井克行



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には、新たな気持ちで輝かしい初春をお迎えのことと存じます。

また、皆様には平素から普及センターの活動全般にわたり深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、2月5日から6日にはこれまでに無い記録的な大雪により、多くのビニールハウスが倒壊する大きな被害を受けました。その後、3月8から9日には大雨と融雪水による施設への浸水被害、9月4～5日には台風21号の影響によりハウス施設への被害、そして、9月6日には北海道胆振東部地震に伴う停電により搾乳作業等へ支障と、自然災害による大きな影響を受ける1年で

ありました。

改めまして被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

農耕期間の気象経過を振り返りますと、月ごとの積算温度は、8月を除いて平年並からやや高い値となりましたが、月の中の寒暖差が大きくなりました。日照時間は、平年に比べ少なく経過し、特に6月2半旬から7月4半旬は平年対比69%と平年を大きく下回りました。降水量は、9月で平年より少なかつたものの各月では平年並みから多く経過し、特に6月2半旬から7月3半旬までの間は断続的な降雨がありました。総じて、昨年の気象は、気温変化が激しく、日照時間の少なさと、断続的な降雨が各作物に大きな影響を与えた年といえます。

一方作柄は、これらの気象や自然災害の影響で平年を下回る作物が多く見られました。しかし、組合員皆様の高い営農技術と適切な栽培管理の下、その影響は最小限にとどまったものと思えます。

品目別に見ますと、水稲は移植作業は平年並に終了したものの、6月中旬からの低温・寡照の影響で生育は遅れ、茎数も平年を下回りました。出穂期は平年より3日

遅く、その後も低温・寡照により登熟が緩慢で、成熟期は平年より5日遅れ、収穫作業も1週間程度遅くなりました。収量は、一穂粒数が多く稔実粒数も多かったものの、登熟歩合が平年より低かったことから、作況指数は94と9年ぶりの不良となりました。

園芸の主力作物であるミニトマトにつきましては、大雪による被災の中、地域全体が協力団結し復旧にご尽力なされ、最小限の影響で作付けが開始されました。水稲同様春先から夏にかけての低温・寡照の影響を受け、生育が遅れるなど、栽培管理の難しい年となり、年間を通じての出荷数量は前年を下回りました。しかし、販売金額では単価高もあり、前年に引き続き9億円台を維持する結果となりました。

肉牛につきましては、黒毛和種牛素牛の出荷頭数は前年並みとなりました。一頭当たり平均価格は、雄雌ともに前年をやや下回る結果となりましたが、依然として堅調に推移しています。

軽種馬においては、北海道市場で売却総額が112億円と、過去最高額を記録した2017年に次ぐ結果となりました。さらにホッカイドウ競馬におきましても、馬券販売額が251億円と8年連続で前年を上回っており、インターネット販売が依然として好調であ

り結果につながっています。

牧草は、収穫時期の断続的な降雨の影響で収穫作業が遅れ、収穫作業最盛期は1番草で平年より15日遅れ、2番草収穫作業最盛期も平年より11日遅れました。適期に収穫ができなかった牧草は、栄養価や嗜好性が低下するため、飼料分析の実施と対応策が必要となります。

農業を取り巻く情勢につきましては、TPP11が昨年12月30日に発効となるなど、国際環境が新たな局面を迎え、農業・農村をめぐる情勢は大きく変化し、先行きが不透明な状況にあります。

このような状況下、政策に応じた長期的な戦略を検討することが必要ですが、「今すべきこと」、「今できること」を今一度見つめ直し、一歩ずつ確実に実行していくことが重要と考えます。

日高地域の優位性や潜在力を最大限に活用し、ゆとりある農業経営が永続できるよう、普及センターとしても「共に考えていく活動」を進めてまいりますので、皆様の一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして健康で希望に満ちた良き年となり、また、豊穰の年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

## 新年に向けて

J Aしずない女性部部長

木田 正子



新年あけましておめでとうござ  
います。

組合員、関係機関の皆様におか  
れましたは、新たな年をご家族お  
揃いで、健やかに迎えのことと  
お慶び申し上げます。

昨年は6月中旬以降の低温、日  
照不足に加え台風、さらには胆振  
東部地震とまれにみる災害の年と  
なりました。

被災されました方には心よりお  
見舞い申し上げますととも一日  
も早い復旧、復興を願わずにはお  
られません。

畑作、水稲、牧草においても平  
年を下回り、厳しい年となりました  
が、新しい年を迎え前向きに取  
り組んでいきたいと考えています。



昨年の女性部の活動では、台風  
の影響を心配して農業まつりへの  
出店を中止したのは残念でした。  
12月には女性部員が講師となつて  
町内より参加した親子9組20名が  
しめ縄づくりに取り組み、満足の  
いく出来映えに喜んでいただきま  
した。

年度末に向け料理教室、交流会  
も予定しておりますので多くの部  
員の参加をお待ちしております。

5月から10月まで土曜日に開催  
された、もぎたて朝市会でも天候  
不順の影響を受け苦労しましたが、  
地域の皆様に喜ばれ無事に終了す  
ることができました。

このような活動を通して、部員、  
地域との交流を深め、農業を楽し  
みながら携わって参りたいと考え  
ております。

本年も組合員、各関係者の皆様  
や女性部員のご協力、ご支援をお  
願ひし、実り多き一年となること  
をご祈念し、新年のご挨拶とさせ  
ていただきます。

## 新年を迎えて

J Aしずない青年部部長

若生 慎吾



新年あけましておめでとうござ  
います。組合員、各関係機関の皆  
様におかれましては、益々のご清  
祥のこととお詫び申し上げます。

平素から青年部活動に対しまし  
ては、深いご理解とご協力を賜り、  
厚く御礼申し上げます。

昨年は、2月5日から6日の大  
雪により、J Aしずない地区にお  
いても甚大な影響をうけ、被害に  
あわれた方々には、復旧をしまが  
らの作付けや、作業といった大変  
な1年であったと思います。

雪害からの復旧には、多くの方  
々のご協力を受け、私たち農業者  
もお互いに協力しながら乗り越え  
てきた1年でした。

また、雪害以外にも夏の日照不  
足や長雨による作物収穫の遅れ、



9月6日には胆振東部地震の影響  
により、全道の停電などもありま  
した。この度の地震により被害に  
遭われた皆様へ謹んでお見舞い申  
し上げます。

近年は、災害が増えているので  
はないかと思える年が続いており  
ますが、そのなかで青年部として  
は、各部員の現状や情報交換をし、  
現状を考えながら出来る限り例年  
通りの活動が出来るよう、各部員  
や部員以外の方々のご協力を賜り、  
小学校の食育事業の実施、農業ま  
つりの参加、ハロウィンイベント  
の実施ができたことは、これから  
の青年部活動のみならず、一農業  
者として大きな勉強となりました。  
このような時代に、一人ひとり  
の自立と協力の大切さを知り、ま  
た地域に貢献できる活動をおこな  
っていききたいと考えております。  
本年は元号も改正され新しい年  
の始まりでもあります。  
組合員の皆様をはじめ、各関係  
機関の皆様にとりまして素晴らし  
い年となりますようご祈念申し上  
げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

# JA北海道厚生連「あなたの健康づくり応援します！」

JA北海道厚生連  
あなたの健康づくり応援します！  
・元気な体で寒い冬を乗り越えよう。



## 温感成分がじんわり浸透し、ほっこり温まります！ グルコサミンダイレクト

〈1瓶85g/約1ヶ月分〉 3,800円（税別）  
グルコサミンとエミューオイル配合クリームです。1日に2～3度、気になるところに5分～10分程度マッサージしながら塗り込むだけ。

### 【こんな方にお勧め】

- スムーズに（活発に）動きたい方
- ふしぶしの動きが気になる方
- 運動で筋肉を使う方
- デスクワークが多い方



## 冬の野菜不足に！ 野菜酵素青汁

〈3g×31包〉 2,200円（税別）  
栄養価の高い大麦若葉の新芽のみ選別。さらに、ケール、桑の葉、ゴーヤ、明日葉の合計5種類の青汁を配合。100種類以上の野草・野菜・果物を発酵させた食物酵素をプラスしました。牛乳、ヨーグルト、お茶、黒酢などに混ぜても美味しく頂けます。

### 【こんな方にお勧め】

- 食生活が偏りがち
- 生活習慣が不規則
- 便秘気味
- 美容と健康が気になる



## 180億個のナノ型ラブレ菌配合！ ラブレゼリー

〈10g×30包〉 3,000円（税別）  
ラブレ菌（植物性乳酸菌）とガラクトオリゴ糖を配合しています。ラブレ菌は腸で働く力が強く、ガラクトオリゴ糖は腸内の善玉菌の栄養源です。善玉菌を増やして腸の働きを活発にします。

### 【こんな方にお勧め】

- 腸内環境を整えたい方
- 肌荒れでお悩みの方
- ストレスが多い方

商品に関する  
お問い合わせは

JA北海道厚生連 医薬事業部 配置薬課  
フリーコール 0120-99-4193（無料）・受付時間 平日 8:30～17:00

# JAしずない女性部 しめ飾りづくり体験教室を開催しました！

木田正子部長（部員46名）をはじめとする女性部では、初の試みとして地域との交流も兼ね、12月1日に町公民館で、小学生の親子を対象とした「親子でしめ飾り作り講座」を教育委員会と合同開催しました。

当日は、5～6年生の親子6組・2年生の親子2組19名が参加しました。女性部部員（OB3名を含む）12名が講師となり、参加した親子とマンツーマンで、すげ草をリースの形にする事から始め飾り付けをし、約2時間で完成する事ができました。

参加した親子からは、「上手にできたので、来年も楽しく迎えられそうです」「ありがとうございました、来年もまた参加したいです」「きょうな体験ができて良かったです」「本物の素材で、自作のしめかざりが作れてうれしいです」「本物素材で作れたのが良かったです」「稲ホのにおいとかわいい香りの中で作ることができたのが幸せでした」など嬉しい声を頂く事ができ、女性部員も楽しい時間を過ごす事ができました。



全部手作業です！



仕上げに入っています



参加者達と記念撮影

女性部では、この他にも部員を対象とした料理教室・交流会・日胆研修会など様々な行事を行っています。興味のある方は、営農課（担当 保土沢・越田）まで御連絡ください。（42-1051）



# 年末・年始業務日程

区分	12月		1月								
	30日 (日)	31日 (月)	1日 (火)	2日 (水)	3日 (木)	4日 (金)	5日 (土)	6日 (日)	7日 (月)		
下記以外の業務	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <b>休日の車の事故受付は下記までご連絡下さい。</b>  <b>24時間・365日の安心サポート!</b>            JA共済 事故受付センター  ジコは クミアイ <b>0120-258-931</b>  <small>フリーダイヤル</small> </div>								平常営業 8:30~17:00		
金融店舗	休 業								平常営業 8:30~16:00		
※ATM本所									ATM 9:00~12:00	ATM 8:30~18:00	ATM 9:00~14:00
※ATM役場									ATM 9:00~12:00	ATM 8:30~18:00	ATM 9:00~14:00
※ATM豊畑									ATM 9:00~12:00	ATM 8:30~17:30	ATM 9:00~14:00
※ATM東静内									営業 8:30~12:00	平常営業 8:30~18:00	平常営業 8:30~18:00
Aコープ しずない店									営業 7:30~12:00	営業 8:30~17:30	営業 8:30~17:30
本所給油所									営業 8:30~12:00	営業 8:30~17:30	営業 8:30~17:30
事業所給油所										営業 8:30~17:30	営業 8:30~17:30
日高中部農協 機械センター	<b>休業 12月29日(土)~1月6日(日)</b> 自動車の事故処理(レッカー搬送)は、24時間受付しております。 TEL 0146-42-7051										

## 地区別懇談会日程表

平成31年地区別懇談会を以下の日程で実施致します。

組合員の皆様には、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

月日	時間	農事組合名	会場
1月23日 (水)	午後5時30分 ~午後8時00分	静内一・駒場・中野一・中野二・神森 昭和・真歌・有勢内・目名・田原 田原高台・桔梗・親和	生産連ビル 3F
1月24日 (木)	午後5時30分 ~午後8時00分	御園・農屋・豊畑一・豊畑二・豊畑三 上豊畑・豊畑振興	豊畑生活館
1月25日 (金)	午後1時30分 ~午後4時00分	春立・東別一・東別二・東別三	東別生活 センター
	午後5時30分 ~午後8時00分	浦和・あざみ・東静内・あけぼの・川合一 川合二・川合三・西川一・西川二・西川三	川合生活館

※ご自身の地区で都合のつかない方は、ご都合のつく地区でのご出席をお願い致します。